

新規化学物質の有害性の調査結果に関する  
学識経験者の意見について（報告）

化学物質評価室

平成16年9月27日から平成17年3月25日までに官報に名称が公表された新規化学物質595物質に係る学識経験者の意見は、下記のとおりである。

記

意 見	物質数
微生物を用いる変異原性試験の結果、強い変異原性が認められる。	22 物質
微生物を用いる変異原性試験の結果、弱い変異原性が認められる。	44 物質
微生物を用いる変異原性試験の結果、変異原性は認められない。	527 物質
がん原性試験の結果、がん原性は認められない。	1 物質
微生物を用いる変異原性試験の結果の評価を保留しているもの。	1 物質
計	595 物質

微生物を用いる変異原性試験の結果、強い変異原性が認められるとされた化学物質一覧

官報通し番号	官報公表年月日	公表名称	用途	措置状況
12180	平成16年9月27日	5-アミノ-1,2,4-トリアゾール-3-カルボン酸のジアゾ化反応生成物	色素中間体	指針対象
12182	平成16年9月27日	3-アミノ-2-(フルオロメキシイミノ)-3-イミノプロパンニトリル=酢酸塩	医薬品原料中間体	指針対象
12210	平成16年9月27日	6-クロロメチル-11 <i>H</i> -ジベンゾ[ <i>b,e</i> ]アゼピン	医薬品中間体	指針対象
12237	平成16年9月27日	テトラキス(クロロメタン酸)=メタンテトラキス[メチレンオキシ(1-メチルエチレン)オキシ(1-メチルエチレン)]と <i>tert</i> -ブチルヒドロペルオキシドとのテトラキス[5-( <i>tert</i> -ブチルペルオキシカルボニルオキシ)-2,5-ジメチル-3-オキサペンチルオキシ]メタンを主成分とする反応生成物	重合開始剤	指針対象
12261	平成16年9月27日	1,3-ビス[4-(ジメチルアミノ)フェニル]プロパ-2-エン-1-イリウム=テトラフルオロボラート	化学品製造中間体	意見聴取予定
12403	平成16年12月27日	2-クロロ-4,6-ジニトロベンゼンジアゾニウム=トリオキノ硫酸水素塩と3'-ジアリルアミノ-4'-メキシアセトアニリドとの2'-(2-クロロ-4,6-ジニトロフェニル)ジアゼニル-5'-ジアリルアミノ-4'-メキシアセトアニリドを主成分とする反応生成物	染料	意見聴取予定
12411	平成16年12月27日	4-クロロメチル-2-メチルチアゾール=塩酸塩	医薬品中間体	意見聴取予定
12443	平成16年12月27日	1-(3,3-ジメチル-6-ニトロインドリン-1-イル)エタン-1-オン	医薬品中間体	意見聴取予定
12457	平成16年12月27日	2,3,3,3-テトラフルオロ-2-(ヘプタフルオロプロポキシ)プロパン酸=ペルフルオロ(2-メチルプロピル)	樹脂原料中間体	指針対象
12505	平成16年12月27日	(1 <i>S</i> ,3 <i>S</i> ,4 <i>R</i> )-2-((1 <i>R</i> )-1-フェニルエチル)-2-アザビシクロ[2.2.1]ヘプタ-5-エン-3-カルボン酸メチル	医薬品中間体	意見聴取予定
12506	平成16年12月27日	<i>N</i> -((1 <i>R</i> )-1-フェニルエチル)イミノ酢酸メチル	医薬品中間体	意見聴取予定
12528	平成16年12月27日	4-メチル-1,3,2-ジオキサチオラン-2,2-ジオキシド	電解液用添加剤	指針対象
12535	平成16年12月27日	1-メチル-7-ニトロ-1,2,3,4-テトラヒドロキノリン	電子材料原料	指針対象
12536	平成16年12月27日	1-メチル-7-ニトロ-1,2,3,4-テトラヒドロキノリン製造時のろ液	電子材料原料	指針対象
12579	平成17年3月25日	4-アミノ-3-メチルフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンとの <i>N,N</i> -ビス(2,3-エポキシプロピル)-4-(2,3-エポキシプロポキシ)-2-メチルアニリンを主成分とする反応生成物	電子工業材料原料	指針対象
12639	平成17年3月25日	2-[(ジフェニルメチリデン)アミノ]酢酸メチル	医薬品原料	指針対象
12655	平成17年3月25日	1,2,3-トリメチルベンゾ[ <i>e</i> ]インドール	色素原料	意見聴取予定
12664	平成17年3月25日	1,1'-ビス(2,4-ジニトロフェニル)-4,4'-ビピリジン-1,1'-ジウム=ジクロリド	光学材料	指針対象
12668	平成17年3月25日	1,1'-ビス(6-ヒドロキシビフェニル-3-イル)-4,4'-ビピリジン-1,1'-ジウム=ジクロリド	光学材料中間体	指針対象
12670	平成17年3月25日	ビス(4-メチルフェニルスルホニル)ジアゾメタン	フォトレジスト	意見聴取予定
12711	平成17年3月25日	1-ベンジル-1,2,3-トリメチル-1 <i>H</i> -ベンゾ[ <i>e</i> ]インドール-3-イウム=ブロミド	色素原料	意見聴取予定
12718	平成17年3月25日	ペンタ-2-エナール	農薬中間体	意見聴取予定

措置状況区分

指針対象: 指針の対象としたことを届出事業者等に周知したもの

意見聴取予定: 追加試験としてほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験を要請済みであり、事業者から提出された試験結果等を踏まえ評価する予定のもの

※ 「指針」とは、「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針(平成5年5月17日付け基発第312号の3別添1)」をいう。

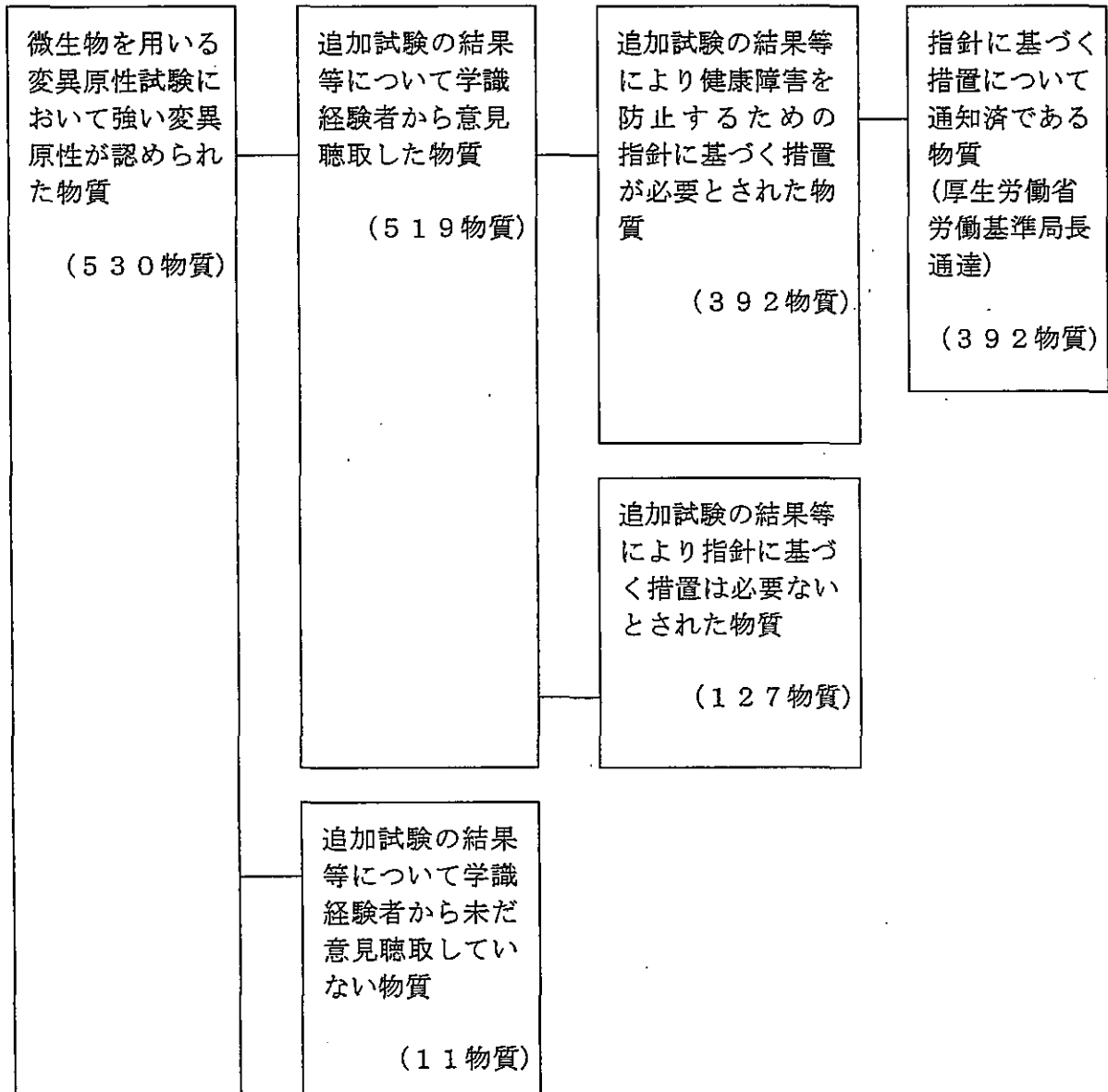
微生物を用いる変異原性試験の結果、弱い変異原性が認められるとされた化学物質一覧

官報通し 番 号	官報公表 年 月 日	公表名称	用途
12163	平成16年9月27日	アクリル酸とエタン-1,1,1-トリメタノールと無水コハク酸の反応生成物	表面処理剤
12179	平成16年9月27日	(Z)-2-(5-アミノ-1,2,4-チアジアゾール-3-イル)-2-フルオロメチキシイミノ酢酸メチル	医薬品原料中間体
12212	平成16年9月27日	2-クロロ-5-メキシピリミジン-4-ヒドラジン	農薬中間体
12249	平成16年9月27日	8-ニトロ-4-オキソ-4H-クロメン-2-カルボン酸エチル	医薬品中間体
12252	平成16年9月27日	2,2'-[N,N'-ビス(カルバモイルメチル)エチレンジアミノ]二酢酸	紙薬品
12263	平成16年9月27日	3,7-ビス[3-(トリメキシシリル)プロボキシメチル]-1-ビニル-2,8,9-トリオキサ-5-アザ-1-シラピシクロ[3.3.3]ウンデカン	接着付与剤
12290	平成16年9月27日	(Z)-2-(フルオロメチキシイミノ)-2-[5-(N-ホルミルアミノ)-1,2,4-チアジアゾール-3-イル]酢酸メチル	医薬品原料中間体
12294	平成16年9月27日	2-プロモ-2-[2-(3-プトキシプロピル)-1,1-ジオキソ-1,2,4-ベンゾチアジアジン-3-イル]-5'-tert-ブチル-2'-[(2-エチルヘキシル)スルファニル]アセトアニリド	感光材料中間体
12296	平成16年9月27日	ベンジル(4-ヒドロキシフェニル)(メチル)スルホニウム=ヘキサフルオロ- $\lambda^5$ -ホスファヌイド	エポキシ硬化剤
12307	平成16年9月27日	1-メチル-4-ニトロ-3-プロピルピラゾール-5-カルボキサミド	医薬品中間体
12308	平成16年9月27日	1-メチル-4-ニトロ-3-プロピルピラゾール-5-カルボン酸	医薬品中間体
12322	平成16年12月27日	アクリル酸-2-(アクリロイルアミノ)-2-メチルプロパン-1-スルホン酸-ジアクリル酸= $\alpha$ -エチレンポリ(オキシエチレン)共重合体	多孔質セラミック製造用造孔剤
12341	平成16年12月27日	1-(2-アセトキシエチル)-2-オキシシクロペンタン-1-カルボン酸アリル	光学分割剤中間体
12352	平成16年12月27日	4-アミノ-6-[5-[4-(8-アミノ-7-[4-[2-ヒドロキシエチルスルホニル又は2-(スルホオキシ)エチルスルホニル又はビニルスルホニル]フェニルジアゼニル)-1-ヒドロキシ-3,6-ジスルホナフタレン-2-イル]ジアゼニル]ベンゾイルアミノ]-2-スルホフェニルジアゼニル]-5-ヒドロキシ-3-[4-[2-ヒドロキシエチルスルホニル又は2-(スルホオキシ)エチルスルホニル又はビニルスルホニル]フェニルジアゼニル]ナフタレン-2,7-ジスルホン酸=五(又は六又は七)ナトリウム塩	染料
12364	平成16年12月27日	1-(6-アミノ-3,3-ジメチルインドリン-1-イル)エタン-1-オン	医薬品中間体
12390	平成16年12月27日	2-オキシシクロペンタ-1-エン-1-カルボン酸アリル=ナトリウム塩	光学分割剤中間体
12397	平成16年12月27日	[1-(2-オラート(O)ナフタレン-1-イル]ジアゼニル)-4-スルホ-2-オラート(O')ナフタレン][1-[5-(4-メキシフェニル)ジアゼニル]-2-オラート(O'')-フェニル]ジアゼニル]ナフタレン-2-イルオラート(O''')クロム(III)酸=二ナトリウム塩	染料
12405	平成16年12月27日	2'-クロロ-5'-ニトロアセトアニリド	医薬品中間体
12409	平成16年12月27日	2'-クロロ-N-(2-メチルアリル)-5'-ニトロアセトアニリド	医薬品中間体
12412	平成16年12月27日	N-[6-[N-(5-クロロ-2-メキシフェニル)カルバモイル]-5-ヒドロキシナフタレン-1-イル]-N-ドデシルカルバミン酸=4-ヒドロキシメチル-2-ニトロフェニル酢酸=2-ヨードエチル	写真フィルム用薬品材料中間体
12421	平成16年12月27日	酢酸=2-ヨードエチル	光学分割剤中間体
12449	平成16年12月27日	1,1-ジメキシ-3-メチルブタ-2-エン	化粧品
12466	平成16年12月27日	2-(2-ニトロフェノキシ)フマル酸ジメチルと2-(2-ニトロフェノキシ)マレイン酸ジメチルの混合物	医薬品中間体
12478	平成16年12月27日	[[2,2-ビス(ヒドロキシメチル)ブタノールと1,3-フェニレンビス(メチルイソシアナート)の付加体]と4-アミノ-3-ヒドロキシベンゼンスルホンアミドの付加体]と2-ジアゾ-1-オキソ-1,2-ジヒドロナフタレン-4-スルホニルクロリドの反応生成物	感光性材料
12500	平成16年12月27日	3-(ピペリジン-1-イル)アニリン	電子材料原料
12501	平成16年12月27日	3'-(ピペリジン-1-イル)-4'-(1,3,4-チアジアゾール-2-イル]ジアゼニル)トリフルオロメタンスルホンアニリド	電子材料原料
12511	平成16年12月27日	4-フルオロ-1,3-ジオキソラン-2-オン	電池材料
12523	平成16年12月27日	メタクリル酸=2-[(2-プロモ-2-メチルプロパノイル)オキシ]エチル	感光材料
12532	平成16年12月27日	1-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロキノリン-7-イルアミン	電子材料原料
12533	平成16年12月27日	N-(1-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロキノリン-7-イル)トリフルオロメタンスルホンアミド	電子材料原料
12541	平成16年12月27日	レチナール	飼料中間体
12558	平成17年3月25日	8-アセチルアミノ-1-ヒドロキシ-2-(4-[1-ヒドロキシ-2-[4-(2,4-ジ-tert-ペンチルフェノキシ)ブチルカルバモイル]ナフタレン-4-イルオキシ]フェニル]ジアゼニル)ナフタレン-3,6-ジスルホン酸=カルシウム塩	写真感光材料
12566	平成17年3月25日	8-アミノ-4-オキソ-4H-クロメン-2-カルボン酸エチル	医薬品中間体
12570	平成17年3月25日	2-アミノ-3-シクロヘキシル-3-オキソプロパン酸メチル=塩酸塩	医薬品原料
12573	平成17年3月25日	1-アミノピリダジン-1-イウム=ヘキサフルオロ- $\lambda^5$ -ホスファヌイド	医薬品原料
12584	平成17年3月25日	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパンとグリセリンの付加反応生成物	樹脂原料
12589	平成17年3月25日	アントラセン-9-カルバルデヒド	電子材料原料
12594	平成17年3月25日	2-イソプロピルマロン酸ジメチル	医薬品中間体

官報通し 番 号	官報公表 年 月 日	公表名称	用途
12601	平成17年3月25日	4,4'-エチレンビス(2,6-ジメチルモルホリン)	触媒製造時の副生成物
12654	平成17年3月25日	トリメチル(トリフルオロメチル)シラン	医薬品原料
12656	平成17年3月25日	p-トルエンスルホン酸シクロヘキシル	触媒
12658	平成17年3月25日	8-ニトロ-4-オキソ-4H-クロメン-2-カルボン酸	医薬品中間体
12659	平成17年3月25日	3-ニトロ-4-フェノキシアニソール	医薬品中間体
12689	平成17年3月25日	1-(4-ビニルベンジルオキシ)-2,3-エポキシプロパン・メタクリル酸・メタクリル酸 =2,3-エポキシプロピル・メタクリル酸ドデシル・メタクリル酸=トリシクロ [5.2.1.0 <sup>2,6</sup> ]デカン-8(又は9)-イル共重合物	絶縁膜

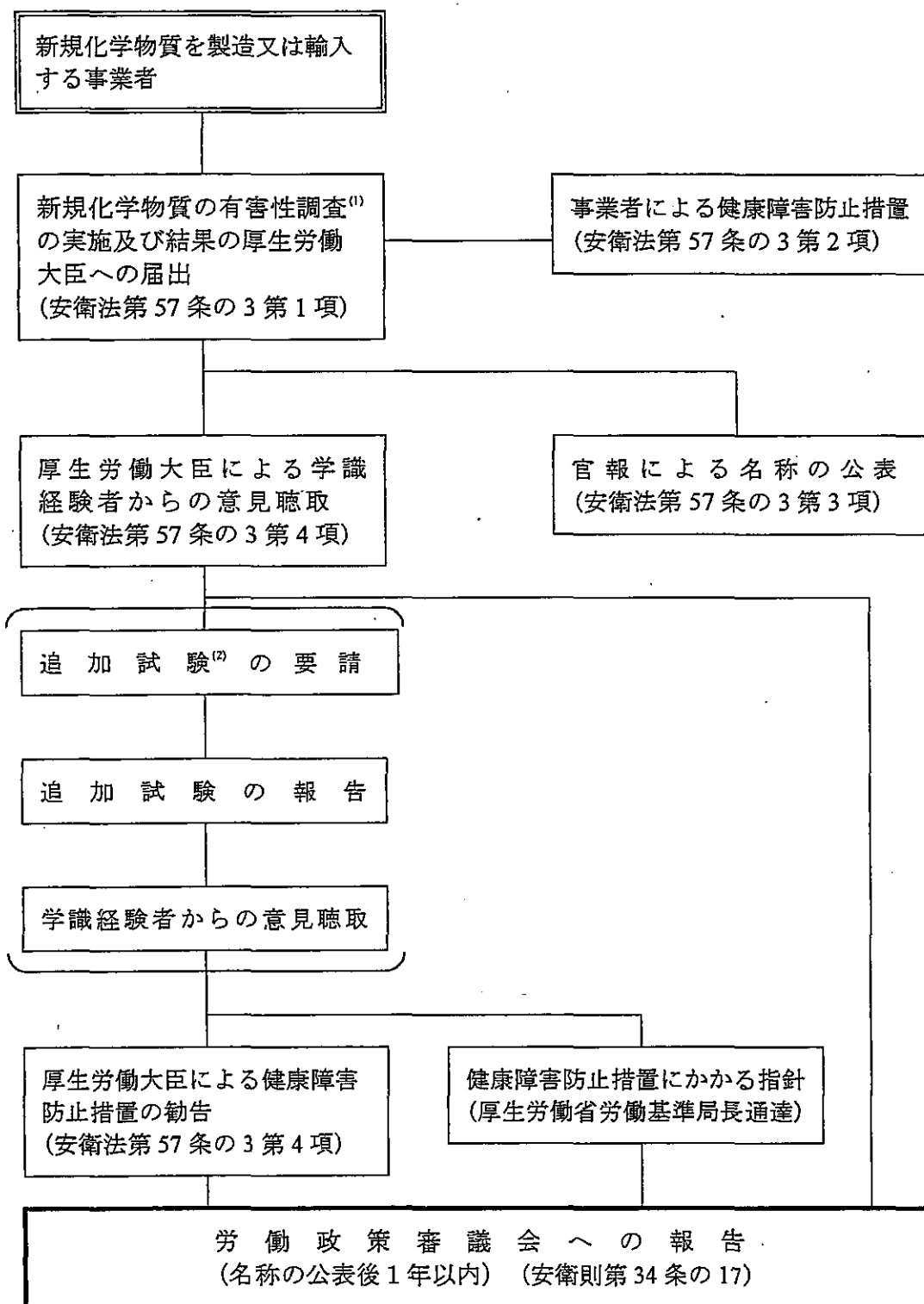
微生物を用いる変異原性試験において強い変異原性が認められるとされた新規化学物質の措置状況

(平成17年5月16日現在)



注) 労働安全衛生法第57条の3第3項の規定により平成17年3月25日までに名称が公表された化学物質12,743物質のうち、微生物を用いる変異原性試験において強い変異原性が認められるとされたものの措置状況をまとめたものである。

新規化学物質の有害性調査制度の概要



(1) 有害性調査の項目は、微生物を用いる変異原性試験又はがん原性試験とされている。変異原性試験とは、化学物質が細胞の遺伝子に突然変異を引き起こすかどうかを調べる試験である。

(2) 追加試験は、ほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験である。

# 変異原性試験等結果検討委員候補者名簿

(敬称省略、五十音順)  
平成17年4月1日現在

氏名	現職等
池田 正之	財団法人京都工場保健会 理事
石館 基	元国立衛生試験所 変異遺伝部長
太田 敏博	東京薬科大学生命科学部 助教授
倉根隆一郎	元独立行政法人産業技術総合研究所筑波中央第六事業所 生物遺伝子資源研究部門総括研究員
輿 貴美子	元産業医学総合研究所 職業病研究部長
後藤 純雄	独立行政法人国立環境研究所 循環型社会形成推進廃棄物研究センター 循環技術システム研究開発室長
猿渡 雄彦	独立行政法人産業医学総合研究所 作業環境計測研究部 主任研究官
清水 英佑	東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 教授
白須 泰彦	東京農業大学 客員研究員
鈴木 勇司	東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 助教授
竹内 康浩	医療法人偕行会 老人保健施設かいこう 施設長
田中 勇武	産業医科大学生態科学研究所 教授
津田 洋幸	名古屋市立大学大学院医学研究科 分子毒性学分野 教授
中西 良文	独立行政法人産業医学総合研究所 有害性評価研究部 主任研究官
能美 健彦	国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター変異遺伝部室長
野見山一生	自治医科大学名誉教授
林 真	国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター変異遺伝部長
福島 昭治	大阪市立大学大学院医学研究科 都市医学講座 教授
福田 一男	元産業医学総合研究所 実験中毒研究部長
松下 秀鶴	静岡県立大学名誉教授
松島泰次郎	中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター 所長
望月 正隆	共立薬科大学 学長
森本 兼曩	大阪大学大学院医学系研究科 社会環境医学講座教授

(検討委員候補者の委嘱期間 平成12年12月25日～平成17年12月24日)